

行事報告書(研修)

報告者：溝部浩二

行事名	室内研修
実施日時	平成27年 1月14日(水曜日) 10時～15時 晴れ時々曇り
場 所	アプリ甲東3階 集会室
行事内容	会員(6名)による講演
講 師	坪田義治さん、野村健次さん、中山勝一さん、飯盛秀穂さん、永野徹さん、青木俊之さん
参加者数	48名
内 容 (項目と概要)	<p>年初の研修会は、例年どおり室内研修として、6名の会員による講演を行った。</p> <p>1. 多田会長の挨拶</p> <p>2. 会員の講演</p> <p>①「甲山を歩く」 坪田義治さん 甲山の成り立ちについて、六甲山との違いを分かりやすく解説いただいた。また、甲山の花崗岩が徳川大坂城の石垣に使われたことや、甲山湿原の草本のきれいな写真など、日頃我々が活動拠点にしている甲山森林公園の全体像を知ることができた。</p> <p>②「食うか食われるか……虫の世界」 野村健次さん イモムシを中心に、昆虫はなぜ決まった植物を食べるのか、また子孫を残すためにどのように工夫を凝らしているかなど、日頃身近に目にしている昆虫たちを、写真を使って分かりやすく説明いただいた。しっかり観察すれば甲山にも多くの昆虫がいることも分かった。</p> <p>③「東日本大震災から3年―復興の現状」 中山勝一さん 釜石観光協会から提供を受けた津波のビデオなどを見て、東日本大震災では津波による被害がいかに甚大であったかを思い知らされた。被害からの復興もまだ途上であり、地道で粘り強い取り組みが望まれる。</p> <p>④「展葉調査から見えてくる環境問題」 飯盛秀穂さん 昨年度の甲山での展葉調査結果の報告があった。展葉調査も突き詰めれば、地球温暖化の環境面での影響を、植物の生育を通じて地域として継続的に調査することであり、今年度も引き続き実施するので、会員の皆さんの協力をお願いしたい。</p> <p>⑤「古代の官道&飛鳥への誘い」 永野 徹さん 太古の畿内な話や大和政権の官道についての話など、普段あまりなじみのない話をていねいに解説いただいた。現在の日本各地の地方名（東海道、山陽道、北陸道など）は、遡れば飛鳥時代の五畿七道に由来している。</p> <p>⑥「100年後の世界―皆様はどう考えますか」 青木俊之さん 100年前の明治34年(1901年)の新聞記事を参考にしながら、我々は100年後の世界をどう予想したらよいのか、地球環境問題や人口問題など多岐にわたるテーマを長期の歴史的な視点から考えてみたい。</p>
感想	<p>東日本大震災の脅威、また自然や歴史、環境に関する話題、さらに遠い将来にわたる予想など、幅広いテーマでとても充実した研修会でした。</p> <p>講師の皆さんには、年始のお忙しいところ誠にありがとうございました。</p>

